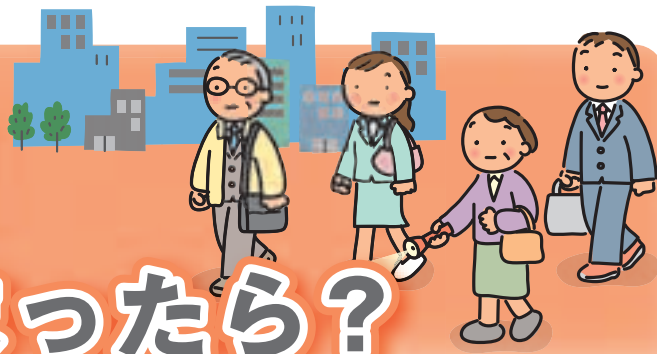


交通機関が マヒしてしまったら？



通勤・通学・買い物等で外出している時に突然の災害にあった場合、電車などの交通機関がマヒしてしまい、自宅まで帰ることが難しくなります。

災害発生後は、駅などに多くの人殺到するなどの混乱が予想されます。まずはあわてずに、ラジオなどで状況を確認しましょう。

家族、知人などの安全が確認できたなら、むやみに帰ろうとはせず、職場や学校に留まることも大切です。また、どうしても帰宅せざるをえない場合に備え、地図やスニーカーなどの防災用品を用意しておきましょう。

災害時の連絡方法を確認しましょう

災害時は、電話がかかりにくくなるため、伝言の録音・再生ができる災害用伝言ダイヤル「171」の利用が効果的です。また、震度6弱以上の地震などの大規模災害が発生した際には、携帯電話会社が開設する災害用伝言板も利用できるようになります。



災害用伝言
ダイヤル

「171」ご利用方法

伝言を録音する

171 をダイヤル

ガイダンスが流れます

録音の場合 **1** をダイヤル

ガイダンスが流れます

被災地の固定電話を市外局番からダイヤル



メッセージを吹き込みます (30秒以内)

伝言を再生する

171 をダイヤル

ガイダンスが流れます

再生の場合 **2** をダイヤル

ガイダンスが流れます

被災地の固定電話を市外局番からダイヤル



メッセージが再生されます

職場などに防災用品を用意しましょう



●携帯ラジオ



●スニーカー



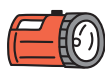
●飲料水・非常食



●防寒着



●軍手



●懐中電灯



●地図 など

避難場所、避難経路を確認しましょう

本市では、災害時の避難場所として、公立の学校などの公共施設を指定しています。そのうち、公民館は、高齢者や障害のある方を優先する避難場所です。複数の避難場所、避難経路を、実際に歩いてみるなど、事前に確認しておきましょう。

本市の震災関連の詳しい情報は、市ホームページでご覧になれます。